

10. 計画の達成状況の評価

10.1. 評価指標の設定

本計画の達成状況の評価するため、各取組に対する評価指標を以下のとおり設定します。
各評価指標の数値目標は実施計画で定めます。

取組み目標 1：地区毎の移動を支える路線バスとデマンドタクシーによるネットワーク形成	
(1) 各地区の移動実態やまちづくりの方向性を考慮し、拠点間を連絡する軸（鉄道またはバス）、面でカバーする地域間・地域内移動手段（デマンドタクシー、端末交通）によるネットワーク形成を目指します。	
施策 1：各公共交通（ふれあいバス・蔵タク等）の役割分担の明確化	
(2) まちづくり進展に合わせ、合理的でわかりやすいネットワークと運賃体系の構築を目指します。	
施策 1：バスルート・運行ダイヤの見直し	
施策 2：料金体系の見直し	
評価指標：公共交通の充実に関する満足度	

取組み目標 2：まちづくりとの連携と採算性等を考慮した持続可能な公共交通サービスの確保・維持	
(1) 地区住民にわかりやすい情報提供や広報活動による利用促進に取組みます。また、利用者特性を踏まえ、ターゲットに応じた利用促進方策を展開します。	
施策 1：わかりやすい情報提供	
施策 2：積極的な広報活動の実施【バス・蔵タク】	
施策 3：利用しやすい公共交通サービス体系の構築	
(2) 効率的な運行形態とサービスに応じた運賃体系の構築を実施します。	
施策 1：運行の効率化	
施策 2：サービスに応じた運賃体系	
(3) 地域や鉄道事業者と連携して公共交通サービスの維持・確保の取組みを検討します。	
施策 1：商業・福祉施設、鉄道と連携した公共交通サービス支援の検討	
評価指標：ふれあいバスの利用者数、蔵タクの利用者数 ふれあいバスの収支率、蔵タクの収支率（運賃収入/運行経費）	

取組み目標 3：公共交通の利用環境の改善	
(1) 高齢者等の交通弱者が利用しやすく、わかりやすい交通手段を目指し、公共交通の利用環境改善に取組みます。	
施策 1：バス停の待合環境整備の検討	
施策 2：バス・タクシー等車両のバリアフリー化の検討	
施策 3：蔵タク予約受付の改善	
評価指標：屋根付き待合所など待合環境の整備件数、 ノンステップバスの導入数、UDタクシーの導入数	

第5 運行評価

利用状況等について具体的な評価指標を設定し、定期的に運行評価を実施するとともに、地域住民等の意見・要望も踏まえ、運行内容の見直し改善を図ります。ただし、見直し後も改善の見通しがない場合には、運行形態の変更を検討します。

変更については、定量的な基準だけではなく、沿線住民のニーズや満足度、変更による影響などを総合的に評価し、栃木市地域公共交通会議の協議を経て決定します。

5-1 評価指標における目標値の設定

各指標に対し目標値を設定するとともに、各項目の調査方法によって計測します。

【指標別目標値、調査方法】

取組み目標1：地域ごとの移動を支える路線バスとデマンドタクシーによるネットワーク形成

◎公共交通の充実度に関する満足度

指標	現状	目標値	調査方法
満足度 (ルート・ダイヤ・運行 頻度・運賃・接客・バス 停位置等)	46%	50%	意見箱等 出前講座等 アンケート調査

※栃木市総合計画後期基本計画における目標値50%

取組み目標 2 : まちづくりとの連携と採算性等を考慮した持続可能な公共交通サービスの確保・維持

◎ふれあいバス・蔵タクの利用者数（日平均）

項目	現状 平成30年度	目標	調査方法
ふれあいバス合計	629.2人	630人	実績報告書
①寺尾線	112.3人	110人	
②市街地循環線	38.6人	40人	
③市街地北部循環線	91.5人	90人	
④部屋線	106.9人	100人	
⑤真名子線	75.4人	80人	
⑥金崎線	18.6人	20人	
⑦大宮国府線	29.1人	30人	
⑧皆川樋ノ口線	48.6人	30人	
⑨小野寺線		20人	
⑩大平線	48.0人	25人	
⑪藤岡線		25人	
⑫岩舟線	60.3人	60人	
蔵タク	254.9人	255人	実績報告書

※第2次栃木市総合計画前期基本計画における目標値

- ・ふれあいバス年間利用者数：230,000人
- ・蔵タク年間利用者数：62,000人

◎ふれあいバス・蔵タクの収支率

項目	現状 平成30年度	目標	調査方法
ふれあいバス合計	8.5%	14.3% (収支割合1/7) ※市町村生活交通 路線運行費県補 助金が交付対象 となる割合	実績報告書
①寺尾線	19.6%		
②市街地循環線	5.4%		
③市街地北部循環線	12.3%		
④部屋線	8.5%		
⑤真名子線	11.0%		
⑥金崎線	2.4%		
⑦大宮国府線	4.9%		
⑧皆川樋ノ口線	6.4%		
⑨小野寺線			
⑩大平線	5.2%		
⑪藤岡線			
⑫岩舟線	7.9%		
蔵タク	15.2%	20.0% (収支割合1/5)	実績報告書

※平成26年10月市財政課作成「長期財政の見通し」において、歳入が10.14%の減少を見込むことから、運賃収入の増収と経費の削減により算出

- 平成30年度歳入 59,679,080千円
- 平成39年度歳入 53,630,005千円

取組み目標 3 : 公共交通の利用環境の改善

◎待合環境の整備件数、ノンステップバス・UDタクシーの導入数

指標	現状	目標値	調査方法
ふれあいバス停留所へのベンチ設置か所数	115か所	140か所	実態調査
ノンステップバス導入数	3 / 16台	6 / 16台	
UDタクシー導入数	4台	6台	